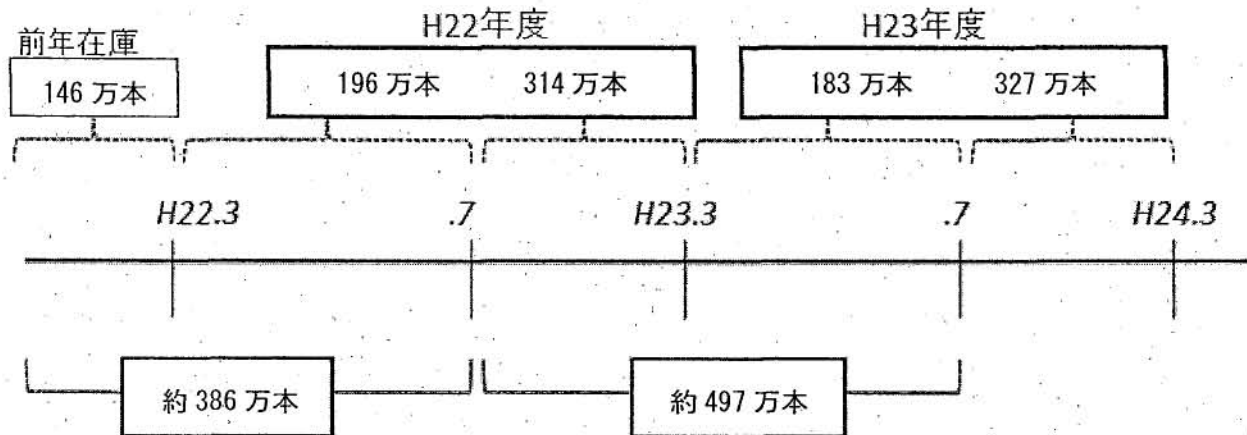


平成 22 年度における乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンの供給状況について

平成22年度予定出荷量510万本のうち、接種シーズン前まで(7月末まで)の供給予定量が約196万本、3月末現在の在庫量は、約146万本^{※2)}であることから、平成22年度接種シーズンにあたり、約386万本が使用可能であると仮定される。(0.5ml換算)

接種シーズン前までの供給量



(平成23年度以後、同様)

(参 考)

(1)第1期の標準的な接種期間に該当する者(勧奨)

平成22年度 :220万本 (初回接種 110万人 × 2回接種)

平成23年度以降 :330万本 (初回接種 110万人 × 2回接種)

(追加接種 110万人 × 1回接種)

(2)第1期の接種の機会を逃した者

1,100万本 (初回 110万人 × 2回接種 × 5年(平成17年~平成21年))

550万本 (初回追加 110万人 × 1回接種 × 5年(平成17年~平成21年))

(3)第2期の標準的な接種期間に該当する者

110万本 (110万人 × 1回接種)

注:本検討においては、単純化のために、年齢毎の人口を110万人^{※1)}とし、接種率は100%とする。

※ 0歳から12歳までの各年齢の平均人口は1,124,600人である。(2009年度 総務省 統計局統計調査部国勢統計課調べ)